

連合長崎第40回地方委員会

2016春季生活闘争・すべての働く者の処遇改善!
「底上げ」「底支え」「格差是正」で経済の好循環実現!

連合長崎は、2016年2月10日(水)13時30分からセントヒル長崎において第40回地方委員会を開催しました。冒頭、森会長は主催者あいさつを行い、「2016春季生活闘争」及び「第24回衆議院議員選挙」の2点に対して述べました。(別記)

森会長のあいさつの後、民主党県連の渡辺敏勝幹事長、社民党県連の吉村庄二代表から来賓あいさつがありました。

その後、一般活動経過報告が満場一致で承認され、第1号議案から第4号議案までの各議案が承認されました。質疑では、第3号議案に関して「選挙区に対応について連合長崎のリーダーシップの発揮を」との発言に対して、連合長崎の見解について全体で確認し、スローガン及び地方委員会アピールを採択しました。

最後に、森会長から「2016春季生活闘争と第24回衆議院議員選挙」の完全勝利をめざして、ガンバロー三唱を行い、閉会しました。

森会長あいさつ



①2016春季生活闘争について

昨年は消費税増税が実施された中、依然として低賃金に苦しむ労働者に追い打ちをかけるように、円安が進み生活必需品の高騰に歯止めがかからず非正規社員を中心に日々の生活に困窮している状況が続いている。そんな状況の中、政府は私たちの財産である年金積立金の株式運用というギャンブルを行い、更には日銀のマイナス金利運用など極めて危険な政策を実施している。経済の好循環を目指した政策ということだが、このことで好循環を維持できるとは思わない。好循環を実現するために先ず必要なのは、低所得者の「底上げ」が一番である。今、連合総研の調べでは労働者の4割が非正規労働者、更に非正規労働者の3人に一人が世帯主というところまで来ており、良質な雇用が確保できてない実態にある。私たちの子や孫は雇用はあっても非正規雇用しかない時代に突入している。こんな状況で経済の好循環が実現できるはずはない。今次の春闘方針で連合は、「底上げ・底支え」「格差是正」で経済の好循環実現、このことを強く掲げ、「クラシノソコアゲ応援団」としての役目を実行することを方針として提起している。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け力を合わせよう。

②第24回参議院議員選挙について

各構成組織においては12名の組織内候補の勝利に向けて事前活動も活発化してきていると思う。選挙区においても熊本を初めいくつかの都道府県で野党統一候補擁立が進んでいるが、残念ながら長崎は野党統一候補への調整がきびしい状況だ。今、私たちが最も求めるのは「安倍政権の暴走を許さない」「次世代を支える若者や社会保障費の減額に苦しむ高齢者政策を任せられる候補者は誰なのか」「どうすれば自民党候補者に勝てるのか」このことが今次参議院選挙で最も重視すべき課題であると思う。今、

私たちの生活が大きく変わろうとしている。確信を持って言えるのは、これまでの無関心層も今無関心であってはならない時期に直面している。国民無視の自民党政権にストップをかけることを重要な課題に置き、選挙戦をたたかい抜こう。

承認された主な議案

第1号議案

「連合長崎2016春季生活闘争方針(案)」

2016春季生活闘争は、賃金引き上げの流れを着実なものとする重要な闘いであり、また連合に集う組合員のみならず、未組織労働者や非正規労働者への波及に重点を置き、社会全体の賃金・労働条件の「底上げ・底支え」と「格差是正」をはかることで、「アフレからの脱却」と「経済の好循環実現」を果たす社会的な使命を帯びた闘争であります。具体的には、全国で展開する「クラシノソコアゲ応援団 / 2016 R E N G O キャンペーン」と連動し、行動を展開していきます。①雇用の安定確保、②「底上げ・底支え」をはかるためにも月例賃金にこだわった闘いを進める、③中小・地場組合の賃金改善、④非正規労働者の労働条件改善、⑤男女平等の実現、などの最重要課題を改善するため、2016春季生活闘争へ積極的に取り組むという方針等が承認されました。

第2号議案

「2016年度連合長崎組織拡大方針(案)」

連合長崎としても、組織拡大の取り組みを最重点課題と位置づけ、連合方針である「1000万連合」実現に向けた取り組みを行っている。「年間1,500名」の組織拡大を実現するとともに、2020年の目標を「現在の組織人員プラス10,000名」に設定しているが、容易に達成できる数字ではない。連合長崎組織拡大推進会議において具体的取り組みを確認・提起する中で、連合長崎における全ての活動を「組織拡大」に繋げることを強く意識し、常に「顔の見える」活動を展開し、全力で取り組みを進めていくことを確認しました。

第3号議案

「第24回参議院議員選挙の取り組み(案)」

今夏予定されている参議院議員選挙の長崎選挙区の候補者の取り扱いについては、現時点で、民主党・社民党間の調整がついておらず、「一本化」に向け対応を強化するとともに、引き続き「組織内比例候補者の活動強化」と今後の進め方について確認をしました。

連合長崎第40回地方委員会アピール

連合長崎は、本日、第40回地方委員会を開催し、2016春季生活闘争、組織拡大、第24回参議院議員選挙闘争などの諸課題への取り組み方針を力強く決定した。

現在、政府は、「日本を世界で一番企業が活躍しやすい国」とうたい、利害調整が難しい施策は後回しにして日銀による金融緩和を先行させた結果、一部の民間部門のみが潤う結果を招いた。この政府の経済政策によってもたらされたかに見える「景気回復」は単に「期待」によって株高・円安が引き起こされたものに過ぎず、力強く持続性のある経済成長は伴っていない。さらに経済政策の第2ステージとして「名目GDP 600兆円」「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」という「目標」を並び立てる一方で、労働者派遣法をはじめとした労働者保護ルールの改悪など「人を犠牲にした経済成長」を進めようとしている。これらの政策は、社会・経済の活力の源泉である「働くこと」の価値を削ぐものでしかなく、連合はその悪影響について社会に警鐘を鳴らすとともに、政府の動きに厳しく対峙してきた。

こうした中で迎える2016春季生活闘争は、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を通じて「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」をめざす闘争である。「総合生活改善闘争」としてすべての働く者が直面している課題の解決をはかるだけでなく、日本の長期的な社会・経済構造変化を見据えてそれに対応していく契機としなければならない。春季生活闘争が果たしてきた日本全体の賃金決定メカニズムは活かしつつ、その則をあえて超える挑戦が求められている。

「1000万連合の実現」に向け連合本部・地方連合会・構成組織による三位一体の取り組みを本格スタートしている。連合長崎も、2020年までに10,000人増(60,000人連合長崎)の拡大目標を達成すべく、構成組織や各地協、あらゆる関係団体と連携し、組織拡大を一層推進していく必要がある。

連合長崎は、組織強化・拡大を運動の最重要課題と位置づけ、増加する非正規労働者も視野に入れ、すべての職場に「集团的労使関係」の構築をめざし、地域と職場で組織拡大のための行動を展開する。「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、すべての労働組合が一丸となり、粘り強い交渉を展開し、「今こそ賃上げ、デフレからの脱却」、さらには、すべての働く者の処遇改善を追求していかなければならない。

また、本年7月に予定される、第24回参議院議員選挙においては、暴走する安倍政権に歯止めをかけ、「働く者・生活者」の立場にたった政策・制度の実現に向けて、連合構成組織内比例候補と連合長崎が推薦する候補者など全員の完全勝利に向け、連合長崎および構成組織と地協の連携強化をはかり総力を結集し戦い抜く。

以上決議する。

2016年2月10日 連合長崎第40回地方委員会



議長 宮本委員(電力総連)
濱田委員(自動車総連)



来賓あいさつ
民主党県連 渡邊幹事長



来賓あいさつ
社民党県連 吉村代表

「連合長崎 非正規・パート労働者支援センター」 開設セレモニーを開催しました



非正規・パート労働者支援センター長崎 除幕式



連合本部
山本副事務局長



連合本部
非正規労働センター
石田局長



連合長崎
非正規労働センター
石井委員長

2016年3月1日10時30分から「連合長崎 非正規・パート労働者支援センター」開設セレモニーが開催されました。冒頭、連合長崎非正規労働センターの石井委員長は、「昨今、非正規労働者が増大しているが、皆悩みを抱えて働いている。解決の方法を知らない人もたくさんいる。このセンターの開設が、そのように悩んでいる人たちの手助けになればと考えている」とあいさつされました。連合本部からは、山本副事務局長にご臨席いただき、「本意で非正規労働者になっている人もたくさんいる。連合は、正社員のことだけではなく、非正規の方も含めた、全ての働く人たちの取り組んでいく」と連帯の挨拶をいただきました。

連合本部非正規労働センターの石田局長から「すべての働く者の処遇改善/底上げ・底支え 格差是正の実現に向けて!」と題して、ご講演いただきました。現在の非正規労働者を取り巻く環境として、「雇用労働者のおよそ4割が非正規労働者」「女性の半数以上は非正規労働者」「非正規労働者の3人に1人が主たる稼ぎ手」「非正規労働者の4人に3人が年収200万円未満」といった事実を説明されました。労働相談の現場では、「仕事を辞めさせてもらえない」「残業代を払ってもらえない」など、たくさんの相談が寄せられています。

それは、相談者個人の問題ではなく、その職場全体の問題としてとらえ、「処遇改善」や「労働組合の加入・結成」の運動をそれぞれの地域・職場で展開しているという報告がありました。

この「非正規・パート労働者支援センター」の開催により、長崎・佐世保・諫早・大村・五島の各地区でも窓口が設置されることとなりました。講演のあとは、各地区の看板贈呈式、長崎地区の看板除幕式が行われました。

連合長崎は、この「非正規・パート労働者支援センター」を通じて、全ての働く者が安心して働き、生活できる社会の実現のために取り組みを進めていきます。皆様の周りに困っている人がいましたら、ぜひこのセンターを紹介してください。



連合とは?
全国の働く仲間が加盟している、すべての働く人の雇用と暮らしを守る労働組合の組織です。「セクハラ」「パワハラ」「不当解雇」など、職場に関するトラブルはますます複雑になっています。一人で悩まず、一緒に問題を解決しましょう!

あなたのお住いの地域にも窓口があります!

- 長崎 長崎市桜町9-6 長崎県労働福祉会館内
- 佐世保 佐世保市稲荷町2-28 労働福祉センター内
- 諫早 諫早市宇都町30-30 諫早労働者福祉会館内
- 大村 大村市西三城町9-1 大村市労働者センター内
- 五島 五島市木場町516-7

連合
日本労働組合総連合会
働く仲間と築く「希望」と「安心」の社会

相談電話はこちら
0120-154-052
いこよ レンゴー

2016年3月
長崎に「連合長崎非正規・パート労働者支援センター」が出来ました

「パートだから」「派遣だから」というだけで、不当な扱いをうけていませんか?
残業代がもらえないといったことはありませんか?
パート・アルバイトでも有給休暇を取れることを知っていますか?
突然、「会社を辞めてくれ」と言われたことはありませんか?

悩みを抱えているのは貴方だけではありません。まずは相談してください! みんなで声をあげて、安心して働き続けられる社会をつくりましょう!

0120-154-052
いこよ レンゴー

「連合長崎 非正規・パート労働者支援センター」は、働く貴方の味方です!

輝き・魅力ある職場になるために ~3.8国際女性デー長崎集会~

2016年3月5日、午後からは「3.8国際女性デー長崎集会」が開かれ株式会社Ash代表の白川鮎美さんから「外面・内面・精神面を磨き、輝き・魅力ある職場を！」と題して、ご講演いただきました。白川さんは、ミス・ユニバース長崎大会の主催者として活躍され、ミス・ユニバース長崎の代表を2年連続、日本代表にした立役者です。その経験をもとに、私たちが職場で輝くヒントを教えてくださいました。「魅力的になる→自身がつく→新しい世界が広がる→プライベートが充実しイキイキ」という好循環の説明の後、実践編としてパーソナルカラーや歩き方のレッスンなどもありました。参加者からは「魅力は作れるもの。姿勢などまずは外見から気がかけていて、全体の魅力につなげていきたい」「自身を持つこと



講師 白川 鮎美 様

が大切と分かった」といった感想が寄せられました。今日の講演から、笑顔・職場の輝きのヒントが得られたようでした。



ウォーキングレッスン

パーソナルカラー診断



国際女性デーとは？

1857年3月8日、米国のニューヨーク市で被服工場や繊維工場に働いていた女性たちが抗議行動を起こしました。彼女たちは非人間的な労働条件と低賃金に対して抗議の声を上げたのです。警察は抗議者たちを襲撃しましたが、2年後の3月、彼女たちは初めて労働組合を結成して自らを守り、職場における基本的権利を獲得することに努めました。

1908年3月8日、15,000人の女性が労働時間の短縮、賃上げ、選挙権、児童労働の廃止を訴えて「パンとバラ」のスローガンを掲げ、ニューヨーク市内をデモ行進しました。パンは賃金や労働条件などの経済的安定、バラは女性の尊厳として生活の質の向上を示しています。

1910年コペンハーゲンで開催された「第2回国際会議婦人会議」で、ドイツのクララ・ゼトキンが、「米国の被服労働者のストライキを記念する日を国際的な性格をもつ女性デーとして、世界の女性たちが一致して毎年、男女平等と平和のための行動をおこすこと」を提起し、17カ国から参加していた100人を上回る女性たちの満場一致の承認を得て採択されました。そして、この「国際女性デー」は、選挙権を含む女性の権利のための運動の栄誉を称える日として確立されたのです。

協会けんぽ長崎支部の保険料率変更のご案内

協会けんぽ長崎支部の健康保険料率が平成28年3月分(4月納付分)から変更となります。なお、介護保険料率は変わりません。

◆詳細はホームページをご覧ください。

協会けんぽ長崎 検索

◆お問い合わせ先
全国健康保険協会(協会けんぽ)長崎支部
企画総務グループ ☎095-829-6001

平成28年3月分(4月納付分)以降

健康保険料率
10.07% ⇒ 10.12%

介護保険料率
1.58% ⇒ 据え置き

お知らせ



★2月18日から連合長崎のFacebookが開設されました。連合長崎の活動をできるだけタイムリーにお届けしますので、ぜひ「いいね!」をお願いします。



★「連合全体で取り組んでいる課題についての情報が、直接、構成組織の単組や支部まで届く仕組みを構築する」目的で、2015年4月から連合本部が連合メールマガジン(通称:ユニマガ)を月1回配信しております。まだまだ、配信数が少ない状況ですので、構成組織役員・単組支部の役員・地協の役員を含め、メールマガジンの登録をお願いします。パソコンでもスマートフォン・携帯電話でも受信可能です。



<https://www.jtuc-rengo.or.jp/unimag/add/>

「2016春季生活闘争、第24回参議院議員選挙勝利！ 政策・制度要求実現！」長崎地区総決起集会



連合長崎と連合長崎地域協議会は、共催で3月5日(土)10時30分から江戸町公園にて「2016春季生活闘争、第24回参議院議員選挙勝利！政策・制度要求実現！」長崎地区総決起集会を開催し、約1,700人が結集しました。

集会の冒頭、連合長崎森会長は、今回の春闘のポイント①持続性 ②月例賃金にこだわる ③広がり ④底上げに触れ、「今年の春闘は『格差是正』をおこなうことを目標とし『クラシノソコアゲ応援団』として力を結集することを訴えている。好循環を実現するために先ず必要なのは、低所得者の『底上げ』で可処分所得の拡大が一番である。今季春闘では、自社のみならず産業全体での底上げ、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な成果配分を求めている。本日結集された皆様で、働くもの全ての「クラシノソコアゲ実現」に向け力を結集しよう。」とあいさつしました。

その後、民主党長崎県連代表の高木義明衆議院議員、社民党長崎県連泉原幹事長から連帯の挨拶をいただき、たくさんお見えいただいた各級議員の皆様をご紹介しました。

集会宣言を採択したのち、連合長崎地域協議会酒井議長の力強いガンバロー三唱で集会を終了しました。集会終了後は、参加者全員で「2016春闘を勝利するぞ！」「非正規労働者の均等待遇を実現するぞ！」とシュプレヒコールをしながら、公会堂前広場までデモ行進をしました。

連合長崎、地協、構成組織が一丸となり、2016春季生活闘争、第24回参議院議員選挙の勝利に向け、総力を結集した取り組みを進めましょう！



連合長崎
森会長



民主党県連代表
高木衆議院議員



社民党長崎県連
泉原幹事長



西岡秀子氏の推薦を満場一致で決定！

連合長崎は、臨時執行委員会を3月8日に開催し、「西岡秀子」氏の推薦を満場一致で決定しました。
この夏の参議院選挙は、立憲主義と民主主義を守るため、安倍政権の暴走を止めるには負けられない戦いです。構成組織・地協と連携し「西岡秀子」氏の必勝に向けた取り組みを行います。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



西岡秀子氏 プロフィール

1964年3月15日、長崎市にて、故西岡武夫（第28第参議院議長）の長女として生まれる。

〈学 歴〉

市立長崎幼稚園
長崎大学付属小・中学校
活水高校
学習院女子短期大学・学習院大学法学部 卒業

〈職 歴〉

国会議員秘書(父 西岡武夫)
会社員(NEC)
会社役員

クラシノ ソコアゲ 応援団！

2016 RENGOキャンペーン
一人ひとりが主役です。

今こそ、
一人ひとりの声を
大きな力に！
連合は、働くあなたを
応援します。



その1

暮らし、 苦しくなっ て いませんか？

暮らしの底われや
格差の拡大を
止めよう。

連合は取り組んでいます

- ◎誰でも最低賃金1,000円の実現
- ◎下請けいじめの撲滅
- ◎生活相談の充実

その2

仕事、きちんと 報われて いますか？

働き甲斐のある仕事
(ディーセントワーク)を
取り戻そう。

連合は取り組んでいます

- ◎「解雇の金銭解決制度」は反対
- ◎長時間労働の是正
- ◎仕事と生活の両立支援策の拡充
- ◎ハラスメント防止策の促進

その3

老後や子育て、 不安は ありませんか？

安心、安全に暮らす
ためのセーフティネットを
要求しよう。

連合は取り組んでいます

- ◎介護職員の処遇改善の実現
- ◎子ども・子育て支援の拡充
- ◎年金積立金の健全な運用

その4

いまの政策、 働く人が 主役ですか？

働く人が報われる
政治を
取り戻そう。

連合は取り組んでいます

- ◎「投票に行こう！」運動の推進
- ◎「健全で緊張感のある民主主義」
の実現